

# 動 檢 時 報

Vol.58-6 2025.12



## ○ What's New !

本年も御愛読いただきありがとうございました。  
来年もよろしくお願ひいたします。

令和8年10月1日からエミュー（写真）が動物検疫の対象になり、量や用途にかかわらず、輸入時に動物検疫を受ける必要があります。  
詳細は10ページを御確認ください。

## ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ 動検時報 第58-6号 目次 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

### ◎ トピックス

- ・熊本空港出張所が開設されました（門司支所 熊本空港出張所） ..... 3
- ・松山分室が開設されました（神戸支所 四国出張所松山分室） ..... 4
- ・新千歳空港における国慶節・中秋節広報キャンペーン（北海道・東北支所） ..... 4
- ・北九州港開港記念イベントで“「みなと」のお仕事ゆるキャラ人気投票”に参加しました！  
(門司支所) ..... 5
- ・JICA「家畜疾病の診断とサーベイランスのための基礎技術強化」コース研修員による  
動物検疫所の見学（統括検疫管理官） ..... 6
- ・第64回農林水産祭「実りのフェスティバル」に参加しました！（企画管理部 企画調整課） ..... 7
- ・第52回川崎みなと祭りに出展しました！（川崎出張所） ..... 8
- ・横浜北仲フェスに出展しました！（検疫部 畜産物検疫課） ..... 9

### ◎ 動物検疫関連情報

- ・第66回全国家畜保健衛生業績発表会（成田支所 動物検疫第1課） ..... 9
- ・動物検疫の対象家畜に「エミュー」が追加されます！（企画管理部 企画調整課） ..... 10

### ◎ 所内情報

- ・令和7年度動物検疫所次長会議を開催しました（検疫部 管理指導課） ..... 11
- ・動物検疫所の業務や職員採用に関するオンライン個別相談会（統括検疫管理官） ..... 12
- ・令和7年度動畜産物輸出入検疫協会との意見交換会について（検疫部 畜産物検疫課） ..... 12
- ・畜靈祭（総務部 庶務課） ..... 13
- ・農林水産省職員ハンドラーのフォローアップ訓練について（検疫部 管理指導課） ..... 13
- ・令和7年度初任者紹介「私は○○な事務官／防疫官になりたい」 ..... 14
- ・カスタマーハラスマントについて（総務部 庶務課） ..... 16

### ◎ 畜産物・動物の輸出入検疫数量実績（令和7年9月、10月）（企画管理部 調査課） ..... 17

### ◎ 動検通信（成田支所） ..... 20

## ◎トピックス

### ・熊本空港出張所が開設されました

(門司支所 熊本空港出張所)

熊本空港（正式名称：阿蘇くまもと空港）は熊本県上益城郡益城町（かみましきぐん ましきまち）にあり、開港は昭和46年と歴史の古い空港です。令和5年3月に大規模な改修工事が行われ、熊本城の黒漆・漆喰をイメージした重厚感あるデザインは周囲の大自然の中にあって非常に存在感があります。建物内部は天井に熊本県産小国杉を使用するなど温かみのある空間になっており、そんな空港内にはいたるところに熊本発の超有名キャラクター（黒いクマ）がいて、空港にお越しのお客様を笑顔でお出迎えしてくれています。

これまで、熊本空港の国際旅客便携帯品検査については福岡空港出張所から出張対応していました。改修工事後の令和5年9月には週14便であった国際線定期便は令和7年9月には週36便と大幅に増加しており、令和5年12月に台湾の半導体大手企業の熊本への工場進出による物流・人流の活性化、令和6年12月には熊本空港初の台湾向け牛肉の輸出など、熊本空港を取り巻く情勢の急速な変化による動物検疫所の熊本空港常駐のニーズの高まりを受け、令和7年10月1日に門司支所熊本空港出張所が開設されました。

出張所の開設に先立ち、令和7年9月27日に熊本空港で開催された空の日フェスタ2025において動物検疫ブースを出展し、広報及び出張所開設のPR活動を行いました。



空の日フェスタ動物検疫所出展ブース

動物検疫に関する広報ポスターの掲示やリーフレット・子供向けグッズ（ペーパークラフト・塗り絵・風船）の配布を行い、お子様連れはもとより御年配の方々など幅広い方々にお越しいただき大盛況でした。（風船の集客効果は絶大であつという間になくなってしまいました。）

ブース出展と併せて動植物検疫探知犬「くら号」による探知のデモンストレーションを行い、多くのお客様が見守る中、見事大成功を収めて、大きな拍手と声援で幕を閉じました。

空の日フェスタでの動植物検疫探知犬デモの様子などは阿蘇くまもと空港公式Instagramにも掲載されておりますので御確認ください。



動植物検疫探知犬デモ後の記念撮影

熊本空港出張所に配属となり早くも1か月が経ちました。バイクで通勤しているのですが、通勤途中に沿道の木々が道側にせり出してトンネルのようになっているところがあり、木漏れ日の中を走っている間は心が癒される憩いの時間です。徐々に色づく阿蘇の大自然に心を癒されつつも、韓国や台湾におけるアフリカ豚熱の発生など我が国を取り巻く情勢には職員全員が緊張感を持ち、水際検疫の徹底に努め、日々の検疫業務を適切に行ってまいりたいと思います。

阿蘇くまもと空港では、現在期間限定で空港名を「阿蘇くまモン空港」と変えて様々なイベントが行われております。阿蘇の大自然と美味しい熊本グルメを満喫しがてら、是非とも「阿蘇くまモン空港」まで足をお運びください。

## ・松山分室が開設されました

(神戸支所 四国出張所松山分室)

松山分室は令和7年4月に松山空港内に開設され、松山空港、松山港、三島川之江港及び今治港を管轄しています。このたび10月から、動物検疫所職員の常駐を開始しました。

事務所を構える松山空港では、コロナ禍以降、令和5年10月からソウル便のデイリー化が始まりました。その後も台北便や釜山便が次々と増便され、令和7年11月現在、韓国または台湾からの国際便が毎日3～4便運航しています（ソウル便1日2便、釜山便1日1便、台北便週3便）。松山分室に職員が常駐するまでは、高松空港にある四国出張所の職員が出張で松山空港の対応を行っていました。時には、神戸支所検疫課や大阪出張所、広島空港出張所等から応援を受けながら対応を行うこともありました。

10月からは職員が常駐して対応することとなり、長距離移動を伴う出張の負担が大幅に軽減されました。

また、松山空港では令和4年から国際線エリアの拡張工事が行われ、令和6年3月末に完成し運用しています。ターンテーブルが1基増設され、国際線エリア内の床面積も2倍に拡大し、旅客の皆様が快適に利用できるようになっています。

国際線の利用旅客数は、四国内では高松空港に次いで多く、搭乗率も8割で推移していることからも航空需要が増加していることを見て取ることができます。インバウンドによる経済的な効果等が期待できる一方、動物検疫の観点から見れば家畜の悪性伝染病の侵入のリスクに対してより一層気を引き締めて対応を行う必要があります。

最後に私生活のことも少し御紹介します。今回、松山分室がある松山に初めて駐在するということで、松山市内にある官舎を動物検疫所職員が利用することも初めての機会となりました。私が借りることになった官舎は道後温泉まで徒歩約10分の距離にあり、休日には温泉に行ったり、道後商店街にも気軽に足を運んだりすることができます。令和7年10月から常駐を開始したばかりの松

山分室でより良い職場環境を整えながらではあります、家畜の悪性伝染病の侵入防止のために、松山分室での駐在効果を最大限とするよう日々工夫や試行を行うなどして、これまで以上に的確な運用、水際対応を目指していきます。

## ・新千歳空港における国慶節・中秋節広報キャンペーン

(北海道・東北支所)

国慶節とは中国の建国記念日のことであり、毎年10月1日が祝日となります。例年、10月1日からのおおむね7日間の連休となる国慶節ですが、本年度は中秋節と重なったことで中国では10月1日から10月8日までの8日間の大型連休となりました。中秋節は家族で集まり月餅を食べる習慣があるため、連休期間の延長による訪日外国人観光客数の増加に加え、お肉の入った月餅やそのほかお土産品での肉製品の持込みの増加が見込まれます。

このため当所では、国慶節1日目の10月1日に新千歳空港国際線ターミナルビル3階の出国ロビーで植物防疫所札幌支所新千歳空港出張所と合同で動植物検疫広報キャンペーンを開催しました。また今回は、全国酪農業協同組合連合会(以下「全酪連」という。)、北海道酪農協会、北海道ホルスタイン農業協同組合、北海道農政部生産振興局畜産振興課、北海道石狩家畜保健衛生所、北海道胆振家畜保健衛生所の方々にも御参加いただきました。

キャンペーンでは、渡航する旅行客を対象に広報用ポケットティッシュの配布、肉製品持込禁止のパネル展示、のぼりの設置により、持込みが禁止されている肉製品等を日本へ持ち込まないように周知しました。また、当所職員だけでなく、御参加の皆様にも積極的にポケットティッシュの配布や水際検疫への協力について呼びかけていただき、例年の2倍である約400個のポケットティッシュを配布しました。

さらに今回は、全酪連からの御提案を受け、新たに靴底消毒の協力を仰ぐ当所オリジナルのポケットティッシュを作成し、配布しました(写真参照)。

当日は、例年同様、動物検疫所公式キャラクター「クンくん」と植物防疫所公式キャラクター「ピーきゅん」も出動し、キャンペーンを盛り上げてくれました。家族連れの旅客がこれらのキャラクターたちと写真を撮影し、親子でポケットティッシュの内容を確認する姿が印象的でした。



キャンペーンで配布したポケットティッシュ  
(左が新たに作成したもの)

キャンペーンの後は参加の皆様を入国検査場内等に案内し、動植物検疫探知犬の活動、当所職員の旅客への口頭質問や手荷物検査、旅客の靴底消毒等、新千歳空港における水際対策の現場を見学いただきました。見学後の意見交換では、普段なかなか目にすることのできない検疫業務を見ることができ大変勉強になり防疫の意識も高まった、との御意見をいただきました。



新千歳空港では年々国際便の到着便数が増え、特に中国や韓国からの便が増加傾向にあります。それに伴い入国者数も増加しており、依然として

家畜伝染病の侵入リスクは高い状況が続いています。このような状況で海外からの輸入禁止品の持込みを防止するためには入国者一人一人に水際での動物検疫について御理解・御協力をいただく必要があります。そのために今後も関係機関や団体と連携し、動物検疫について広く周知していくよう広報活動に取り組んでまいります。

### ・北九州港開港記念イベントで“「みなと」のお仕事ゆるキャラ人気投票”に參加しました！

(門司支所)

福岡県北九州市にある北九州港は、九州の最北端にあり、東は周防灘、北は関門海峡及び響灘に囲まれています。外国貿易の「門司港」、国内流通の「小倉港」、工業港の「洞海港」を総称して名づけられた北九州港は、現在では特にアジアに近いという地理的特性から、日々発展するアジア諸国と日本を結ぶ重要な港として機能しています。その北九州港では、令和7年11月1日、2日の2日間、北九州市の皆様に海や港に親しんでいただくことを目的とした「北九州港開港記念イベント」が、門司港西海岸地区を中心に開催されました。

イベントでは、帆船「海王丸」や海上保安本部の巡視艇、税関の監視艇などの海で働く船舶が一般公開されたほか、麻薬探知犬によるデモンストレーションや港で働く方々のお仕事制服ファッションショーなどが開催されました。その中の参加型イベントとして、2日目の11月2日に海や港の仕事を知ってもらうため、北九州港を中心に日夜PR活動をしている、ゆるキャラ達の人気投票イベント、“「みなと」のお仕事ゆるキャラ人気投票”が開催され、今回、動物検疫所公式キャラクター「クンくん」が初出場をしました。

遡ること4か月前、夏真っ只中の7月20日に門司港レトロ地区で海洋レジャーへの理解を深める為のイベントとして「関門港ボート天国」が開催されました。その中の催物の一つに「海のキャラクター写真撮影会」があり、門司港に関係するゆるキャラ達と一緒にクンくんが写真撮影会に参加しました。その際に披露したクンくんの

パフォーマンスに注目が集まり、関係者の方々から熱烈なオファーをいただいた結果、今回のゆるキャラ人気投票にクンくんが参加する運びとなりました。

ゆるキャラ人気投票の当日は、風が強かったものの晴天に恵まれ、暑さや湿気も無い、まさに秋真っ盛りという中でイベントが行われました。

ゆるキャラ人気投票へのエントリーは4体。門司税關の「カスタムくん」、海上保安庁の「うみ丸くん」、阪九フェリー株式会社の「ふねこ」、そして動物検疫所門司支所の「クンくん」です。地元北九州港にもマスコットキャラクター「スナQ」がいますが、昨年のゆるキャラ人気投票で優勝し、今年はエントリーはせずに大会を盛り上げる役目で参加しました。

午前中は、来場されたお客様に投票をお願いするPRタイムとして、各ゆるキャラ達の自己紹介やアピールが特設ステージ上で行われました。クンくんは、BGMの「クンくんサンバ」(※)に合わせて軽やかなステップで登場して、ステージ上では全身で刻むビートで観客を魅了し、与えられた5分間のPRタイムでは、ほかのゆるキャラ達の中でも圧倒的な存在感を放ちました。

PRタイム終了後もクンくんは多くのお客様、特にお子様にとても人気があり、急きょ午後の空き時間にも、会場で撮影タイムを設けたほどでした。

夕方からは、あらためてエントリーの4体が会場に登場して、イベントのクライマックスである人気投票の結果発表が行われました。令和7年の「みなと」のお仕事ゆるキャラ人気投票”、その栄えある第1位は、「ふねこ」でした。1位のゆるキャラへの盛大な表彰式が行われ、イベントは無事終了しました。

今回クンくんは、残念ながら1位は逃しました。ですが、来場されたお客様にクンくんという存在をたくさんアピールすることができました。次回は皆さんにもっと良い結果を報告できるように、クンくんはこれからも日本の畜産を守るために全国各地で日々奮闘していきます。今後とも応援よろしくお願いします。

(※)「クンくんサンバ」とは、クンくんが門司港でサンバを踊っている広報動画です。動物検疫

所のホームページの動画一覧から見ることができます。



(<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/movie.html>)

歌と踊りでクンくんに興味をもってもらい、動物検疫を知るきっかけにしてもらうことを目的に、令和5年に門司支所で制作しました。皆様、ぜひ一度御覧になってください。



ゆるキャラ人気投票の様子  
左からスナQ、カスタムくん、ふねこ、うみ丸くん、クンくん

#### ・JICA「家畜疾病の診断とサーベイランスのための基礎技術強化」コース研修員による動物検疫所の見学

(統括検疫管理官)

令和7年10月20日、JICA（独立行政法人国際協力機構）の課題別研修「家畜疾病的診断とサーベイランスのための基礎技術強化」コースに参加している各国の研修生が、動物検疫所横浜本所の見学に訪れました。

当該研修は、家畜疾病に係る専門技術者の養成を目的として、JICAから委託された畜産技術協会が運営し、各国の家畜衛生担当者を対象として

実施されています。動物検疫所の見学は、研修の一環として、日本の水際防疫等を担う動物検疫所の業務に対する理解を深め、研修生が自国における家畜衛生技術の更なる向上を図るために行われたものです。

今回の見学では、アルゼンチン、コロンビア、エチオピア、モンゴル、フィリピン及びスリランカの家畜衛生担当者や引率職員等、合わせて10名に参加いただきました。

見学当日は、まず全国における動物検疫所の設置状況や業務概要について説明を行い、その後、馬や豚などの動物を係留して輸出入検査行う施設、各種ワクチンをはじめとした国内防疫支援に必要な資材の保管施設、微生物学的検査や遺伝子検査等を実施する精密検査施設を見学いただきました。研修生の皆様は、職員の説明に耳を傾けながら、各施設や機器を興味深そうに観察し、熱心にメモを取っていたのが印象的でした。



防疫資材庫の見学

見学の最後に設けた質疑応答の時間では、係留施設に関すること、疾病発生時のバイオセキュリティに関すること、備蓄ワクチンに関すること等、多くの質問をいただき、動物検疫所の業務に対する関心の高さがうかがえました。また、見学終了時には研修生の代表者から、日本語でお礼の挨拶をいただいたことも大変印象的でした。

今回の見学を通じて、研修生の皆様の真摯な姿勢に刺激を受けるとともに、国際交流の大切さを改めて実感しました。今後もこうした見学や研修を積極的に受け入れることで、各国との信頼・協力の輪を広げる一助になれば幸いです。

## ・第64回農林水産祭「実りのフェスティバル」に参加しました！

(企画管理部 企画調整課)

令和7年10月31日（金）、11月1日（土）の2日間にわたり、サンシャインシティ（東京都豊島区）において令和7年度（第64回）農林水産祭「実りのフェスティバル」が開催されました。実りのフェスティバルは、農林水産業と食への理解の増進、農林水産物の消費拡大等に資するため、農林水産省と公益財団法人日本農林漁業振興会の共催で、都道府県や農林水産関係団体の協力を得て開催されています。都道府県の特徴ある技術や農林水産物の展示、郷土特産物の即売・試食等とともに、政府特別展示の一つとして、動物検疫所もブースを出展しました。

動物検疫所のブースでは、「動物検疫なんのため？～日本の畜産業を守る最前線～」と題して、パネル展示や業務紹介動画の放映をはじめ、日本に持ち込めない肉製品の食品サンプルの展示や国際空港で使用しているポスターの掲示を通して、来場者へ“海外からの肉製品は持込禁止”であることをアピールするとともに、犬や猫などに装着するマイクロチップの読み取り体験や動物検疫所公式キャラクター「クンくん」のシール配布なども行い、動物検疫の周知を図りました。期間中、実際にクンくんも登場し、来場者やご当地キャラクターたちと記念撮影を行い、親交を深めました。また、10月31日（金）に秋篠宮皇嗣同妃両殿下が本フェスティバルを御視察された際には、ご当地キャラクターたちと一緒にクンくんもお出迎えをしました。

ブースを訪れてくれた方からは、クンくんのファンであるという声や、「いつもテレビで空港の検査の様子を見ている。大変だと思うが頑張ってほしい」との激励もいただき、職員一同大変励みになりました。

本フェスティバルは農林水産業をPRするとしても良い機会であり、このようなイベントを通じて、日本の畜産業を守る動物検疫の仕組みについて興味を持っていただけたうれしいです。引き続き、このようなイベント等の機会を最大限活用し、動物検疫制度の周知に努めてまいります。

す。イベント案内は公式 Instagram 【@kunkun\_aqsjapan】でも発信していますので、ぜひフォローしてチェックしてください！



ブース展示の様子



キャラクター撮影会でのひとコマ  
左：クンくん、右：すだちくん（徳島県）

### ・第52回川崎みなど祭りに出展しました！

（川崎出張所）

令和7年10月11日（土）、12日（日）の2日間、川崎マリエン周辺と東扇島東公園で「第52回川崎みなど祭り」が開催されました。動物検疫所は、昨年と同じく川崎マリエン棟内に出展しました。初日は雨天での開催でしたが、たくさんの方にお越しいただきました。

動物検疫所ブースでは動物検疫を紹介するポスター・クイズの展示、マイクロチップの読み取り体験コーナーを設置しました。また、動物検疫

所公式キャラクター「クンくん」のペーパークラフト、塗り絵、間違い探し等を用意し、ブースに来た子ども連れの方を中心に配布しました。

動植物検疫探知犬デモンストレーションを10月11日の午前と午後に実演しました。各回70部ずつ整理券を配布したところ、満席で大盛況でした。整理券を受け取られた方からは「このために来ました！」といった声もありました。

デモンストレーション前に動物検疫と植物防疫について、簡単に紹介しました。海外から畜産物や植物の日本への持込みに関するクイズを○×形式で行い、来場者の方も積極的に参加してくださいました。デモンストレーションは2年連続でグレン号が実演しました。探知実演では探知対象物である、ベーコン、バナナが入った箱と対象外のものが入った箱を並べて行いました。グレン号は来場者の注目の中、4つの箱の中からベーコン、バナナを見事探し当て、たくさんの歓声と拍手をいただきました。



探知犬デモンストレーションの様子

デモンストレーション後は、クンくんと植物防疫所公式キャラクター「ぴーきゅん」、グレン号とハンドラーとの写真撮影の時間を設けました。特に子ども連れの家族にたいへん好評で、たくさんの方が撮影されていました。グレン号は、周囲の動きに動じることなく、しっかりとカメラ目線で対応してくれました。

また、クンくんは「ゆるキャラ大集合！」にぴーきゅん、仕事猫（国土交通省関東地方整備局とコラボ）、クアラン（厚生労働省検疫所）、川丸くん（川崎マリエン・川崎港）と一緒に登場しました。特に子どもから熱烈な歓声があり、非常に

盛り上りました。



ゆるキャラ大集合！の様子

左から、川丸くん、ぴーきゅん、クンくん、クアラン、仕事猫

「第52回川崎みなど祭り」への出展について、今回も動物検疫所のWebサイトや公式Instagramで発信しました。イベント中はブースやデモンストレーションで動物検疫を紹介し、また会場をクンくんが練り歩いて、たくさんの方が撮影されていました。動物検疫を御存知でなかった方が知るきっかけになればうれしいです。今後もイベントへの出展等を通じて動物検疫について認知いただけるように広報活動に取り組んでまいります。

今回のイベントに御協力いただいた川崎みなど祭り実行委員会の皆様ありがとうございました。

### ・横浜北仲フェスに出展しました！

(検疫部 畜産物検疫課)

横浜北仲フェスは、歴史と未来、くらしとにぎわいが交錯する魅力的なまちを目指して計画された横浜・北仲地区を官民一体となって盛り上げようという催して、今年が6回目の開催となります。横浜第2合同庁舎には、動物検疫所のほか植物防疫所、関東農政局、関東地方整備局、関東財務局、横浜税関など、多数の官庁が出展し、来場者に業務の紹介を行うとともに様々な体験を提供しました。

今年の横浜北仲フェスのテーマが「変化～変わり続けるつながり広がる北仲の可能性～」ということもあり、動物検疫所のクンくんをはじめ、カスタムくん（税関）、ぴーきゅん（植物防

疫所）、仕事猫（関東地方整備局とコラボ）、かながわキンタロウ（神奈川県）の合計5体の官庁マスコットたちが大集合し、来場者と記念撮影を行うなど会場を大いに盛り上げました。

このほか、動物検疫所独自の目玉イベントとして、来場者の方にもお手伝いいただき、動植物検疫探知犬（訓練犬）による探知デモンストレーションを実施しました。参加した訓練犬の“イブ号”と“いろいろ号”は、今年度に動物愛護センターからやってきたばかり。たくさんの方の前で探知活動をするのが初めてということもあり、ハンドラーも緊張して当日を迎えました。本番では、イブ号もいろいろ号も、本物の動植物検疫探知犬と見紛うばかりの堂々とした探知活動を披露し、たくさんの箱や荷物の中から、お肉やソーセージを見つけることができました。探知が成功し、応援してくださいださった方々から盛大な拍手をいただいて2頭ともとても誇らしげでした。

横浜北仲フェスに出展した様子やイブ号といろり号の活躍は動物検疫所公式Instagramでも発信しておりますので、是非ご覧ください。

現在、近隣諸国でアフリカ豚熱の発生が拡大しており、東アジアで発生していない国は日本だけとなりました。日本の畜産を守るためにも、こうした広報活動がより多くの方に目に留まり、海外からの肉製品の持込みが非常に厳しく制限されていることを御理解いただけると幸いです。

### ◎動物検疫関連情報

#### ・第66回全国家畜保健衛生業績発表会

(成田支所 動物検疫第1課)

消費・安全局動物衛生課が主催する全国家畜保健衛生業績発表会は、家畜保健衛生所の日常業務に関連した事業、調査等の業績について全国的な規模で発表検討を行い、畜産の現状に則した家畜衛生事業等の向上を目的として、毎年1回開催されています。今年は9月11日、12日の2日間、銀座プロッサム中央会館において対面で開催され、各都道府県及び各ブロック別家畜保健衛生所業績発表会で選出された48演題が発表されました。

第一部では、豚熱・アフリカ豚熱・高病原性鳥

インフルエンザ等の疾病発生における防疫対応、野生イノシシのサーベイランス強化等、第Ⅱ部では疾病的診断事例、浸潤状況調査や迅速化に関する検証等、様々な課題に取り組まれた発表がなされ、いずれも大変興味深く、参考になりました。

各演題発表の審査の結果、第Ⅰ部及び第Ⅱ部それぞれから、農林水産大臣賞2題、消費・安全局長賞22題及び全国家畜保健衛生業績発表会協賛会会长賞2題が選出されました。

動物検疫所からは、例年審査員として動物検疫所長と精密検査部長が参加しているほか、特別演題として「新たに配備された移動式レンダリング装置」（企画管理部危機管理課）と「米国産繁殖用豚における豚白血病（Bリンパ球性白血病）について」（成田支所動物検疫第1課）を発表しました。特別演題はいずれも本年7月に行われた令和7年度動物検疫所業績発表会において、本会での発表演題として選出された演題です。発表に対して会場から「豚白血病に対するレトロウイルスの関与はあるか。原発巣はどこか。また、米国での発生状況はどれくらいか」との質問が出ました。豚白血病は非常にまれな疾病であり、都道府県の家畜保健衛生所の皆さんからの関心が高いことが伺えました。

国内における家畜衛生業務の取組を知り、都道府県の皆さんと意見交換することができ、学びの多い機会となりました。今後の動物検疫業務に生かしていきたいです。

### ・動物検疫の対象家畜に「エミュー」が追加されます！

（企画管理部 企画調整課）

皆様は「エミュー」という鳥類を御存じでしょうか。エミューは、ダチョウによく似た世界で2番目に大きな「飛べない鳥」で、原産国であるオーストラリアでは国鳥にも指定されています。日本では各地の動物園において、その威厳ある姿を目にすることができるエミューですが、近年、その卵や肉、油の利用のために飼養数が増加し、畜産業にも一定程度定着してきています。また、エミューは、鶏やうずらといった家きんと同様、高病原性及び低病原性鳥インフルエンザに感受

性があることから、我が国における当該伝染病の発生・まん延防止に万全を期すため、令和7年10月1日から、家畜伝染病予防法の対象家畜にエミューを追加し、飼養衛生管理基準の遵守といった国内規制の対象となりました。

これに伴い、生きているエミューやその畜産物の国際移動についても国内防疫措置に遗漏のないよう規制対象とする必要があり、令和7年9月29日付で改正家畜伝染病予防法施行規則が公布され、動物検疫の対象家畜にエミューを追加することとなりました。

令和7年10月1日

・エミューやその製品の輸入をしている  
・生体の鶏、鶏肉、鶏卵などを輸入している  
・海外へ渡航される、海外から帰国される

**皆様へ**

**令和8年10月1日から**

**エミューやその製品は動物検疫が必要です**

家畜伝染病予防法施行規則の改正により、動物検疫の対象家畜にエミューが追加されます

(公布：令和7年9月29日、施行予定：令和8年10月1日)

**【新たに動物検疫の対象となるもの】**

- ・生きたエミュー
- ・エミュー由来の畜産物（肉、ジャーキー、臓器、卵、羽など）

●上記のものは、これまで動物検疫を受けずに輸入できましたが、  
**令和8年10月1日以降、輸入時に動物検疫を受ける必要があります**

注：量や用途にかかわらず、個人のお土産も動物検疫の対象です  
(例：豪州からのエミュージャーキーなど)

●上記のものを輸入するには、各国と締結している**家畜衛生条件**  
(**生きた家きん、家きん肉等**)を満たした輸出国政府機関発行の  
検査証明書が必要となります

注：輸出国で高病原性／低病原性鳥インフルエンザが発生した場合、  
その国（または一部地域）からのエミューを含む全ての**生きた家きん、家きん肉、家きん卵等**の輸入が一時停止されます

農林水産省動物検疫所

連絡先 

### 【新たに動物検疫の対象となるもの】

- ・生きたエミュー
- ・エミュー由来の畜産物  
(肉、ジャーキー、臓器、卵、羽など)

上述のものは、これまで動物検疫を受けずに輸入できましたが、改正規則の施行予定日（令和8年10月1日）以降、輸入時に動物検疫を受ける必要があります。量や用途にかかわらず、オー

ストラリア産のエミュージャーキーといった個人のお土産についても動物検疫の対象となりますので御注意ください。

高病原性鳥インフルエンザの発生していない国から上述のものを輸入するには、各国と締結している家畜衛生条件を満たした輸出国政府機関発行の検査証明書が必要となります。また、輸出国で高病原性又は低病原性鳥インフルエンザが発生した際は、当該国・地域からのエミューを含む全ての生きた家きん、家きん肉、家きん卵等の輸入が一時停止されますので、家きん又は家きん由来畜産物の輸入に当たっては御留意ください。

皆様におかれましては、円滑な検査開始に向けて、引き続き御協力をよろしくお願ひいたします。

## ◎所内情報

### ・令和7年度動物検疫所次長会議を開催しました

(検疫部 管理指導課)

令和7年11月6日、7日に横浜本所において、全国8支所の次長(次長が配置されていない支所からは調整指導官)を一同に集めた令和7年度動物検疫所次長会議を開催しました。

各支所の重鎮であり、人材育成の要としての重責を担う次長等を参集し、本会議を通じて動物検疫をめぐる情勢、課題等を共有するとともに、活発な意見交換を図る目的で開催されました。

冒頭に石川所長から、次長を含めた管理職には職員の意識醸成とリスク管理、危機が生じた場合には組織の先頭に立つことが求められていること、知見と経験を下の世代に継承し、持続可能な組織に育てることが大切であること、先月(10月)に台湾でアフリカ豚熱が初めて確認されるなど我が国への越境性動物疾病の侵入リスクが更に高まっており、国民の皆様からの厳格な水際検疫対応への期待に組織を挙げて応える必要があること等の挨拶がありました。また、本省からは消費・安全局動物衛生課の方に御出席いただきました(1日目のみ)。

本会議1日目の「動物検疫所におけるカスタマーハラスメント対策」では、総務部庶務課及び

企画管理部危機管理課から、本年公表された農林水産省方針を受け、動物検疫所における対応方針について説明がありました。今後、所内対応マニュアルの作成を予定していることが併せて報告されました。各次長等からもカスタマーハラスメントに係る諸問題が共有され、支所間で共通的重要課題であることが再認識されました。

また、各支所における事案共有の一環として、成田支所から「外国食材店を中心とした外国人コミュニティへの広報」の紹介がありました。言語の問題、自治体との連携状況など他次長等から次々と質問、意見が交わされました。沖縄支所からは「動物検疫業務教本について」として、更新した業務参考資料の紹介があり、所内のレガシー(経験や知見など)をどのように引き継ぐのかという課題等の共有が図られました。そのほか、横浜本所の統括検疫管理官から、リクルート担当窓口でもある次長等に対して、夏のインターンシップ(就業体験実習)に係る総括や新たに春の短期体験実習の開催に向けた方針説明がありました。業務多忙の中ではあるが、丁寧なリクルート対応は優秀な人材確保につながるとの認識が共有されました。また、2日目には、次長等による「動物検疫所はどうあるべきか」をテーマとしたプレゼンテーションを行いました。次長等からは、マイクロ(支所)に加えてマクロ(動物検疫所全体)の視点から、業務の合理化や人材育成等について次長ならではの視点で問題提起と課題解決の提案があり、横浜本所、支所間で活発な意見交換を行いました。



これまで動物検疫所では、支所長会議や検疫課長・出張所長会議を定期的に開催していましたが、次長等が集まる会議は初めての試みでした。普段からオンライン上のコミュニケーションを活発に実施している一方で、次長等同士、顔を合わせて意見交換ができたことは有意義であり、各所間の情報及び認識の共有が図られた貴重な2日間でした。

### ・動物検疫所の業務や職員採用に関するオンライン個別相談会

(統括検疫管理官)

動物検疫に興味のある方や、将来動物検疫所で“はたらく”ことを検討している方を対象として、令和7年10月及び11月にオンライン個別相談会を開催し、30名以上の学生に参加いただきました。

この取組は、動物検疫所の業務内容や職員採用、職場の雰囲気などを、より具体的に職員の生の声から知ってもらうことを目的としたもので、動物検疫所では初めての試みとなります。相談会当日は、動物検疫所本所の採用担当職員等が学生と原則1対1で、様々な質問や相談に丁寧に対応しました。学生からは、

- ・動物検疫所の業務内容全体を聞きたい
  - ・動植物検疫探知犬やそのハンドラーについて知りたい
  - ・精密検査業務について詳しく教えてほしい
  - ・見学やインターンシップについて聞きたい
  - ・採用試験や入省後のキャリアパスについて知りたい
  - ・職場はどのような雰囲気か
- など、多くの質問がありました。また、相談会終了時には、
- ・将来の参考になり、とても有意義な時間だった。参加できてよかったです
  - ・直接話を聞くことでイメージが明確になり、動物検疫所で“はたらきたい”と思った
- といったうれしい声もいただきました。

オンラインという形式ではありましたが、学生と職員が個別に丁寧に話すことで、互いに理解を深め双方にとって有意義な時間になったと

感じています。

今後も、将来の水際防疫を担う人材との交流を大切にしながら、動物検疫所の役割や魅力を伝えることができるよう努めていきます。

### ・令和7年度動畜産物輸出入検疫協会との意見交換会について

(検疫部 畜産物検疫課)

令和7年10月21日に動畜産物輸出入検疫協会(以下「協会」という。)と動物検疫所との定例の意見交換会が開催され、活発な意見交換がなされました。

最初に動物検疫所から、令和8年10月から新たにエミューが動物検疫の対象家畜に追加されることについて情報提供し、周知への協力をお願いしました。続いて、協会会員店社から、一昨年の3月に改正された畜産物の輸入検査要領や畜産物の輸出入検査場所指定要領に基づく検査対応等に関し、検査に係る負担軽減や指定検査場所における動物検疫への理解度向上により円滑化が図れた等、昨年と同様に前向きな御意見をいただきました。

また、本年度は協会と動物検疫所が共催した実務担当初任者研修や京浜港を管轄する動物検疫所が合同で開催した講習会など、勉強会の機会を多く設けてきたことに関し、ウェブでの配信により参加しやすくなった、知識や意識の向上につながった、といったうれしい感想を聞くことができました。

その後、協会からの提案や申請者及び指定検査場所等からの要望に対して、動物検疫所が回答する形で意見交換が進められました。

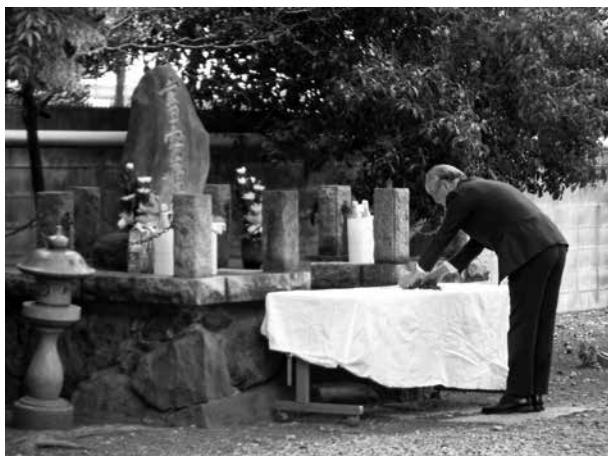
頂いたいすれの提案、要望も動物検疫所としても業務の効率化、合理化につながる貴重な御意見と認識しております。

改めて貴重な提案、要望をお寄せいただいた協会の皆様には、この場をお借りして感謝申し上げます。

## ・畜靈祭

(総務部 庶務課)

本年11月5日、横浜本所において、関係団体御列席のもと令和7年度畜靈祭を執り行いました。畜靈祭は、尊い命を捧げてくれた家畜・動物の魂を慰め、命の尊さを再確認するため開催しているものです。横浜本所管内ではこの一年間で検疫中に豚、初生ひなのほか、我々の大切なパートナーとして活躍して引退した動植物検疫探知犬3頭が亡くなりました。畜靈祭の冒頭に石川所長から「尊い命を捧げてくれた動物たちの靈を慰め、哀悼の誠を捧げ、引き続き職責を果たしていくこと」、「国内では鳥インフルエンザや豚熱のまん延を防ぐことを目的に多くの家畜が処分されていることも心に留める必要があり、引き続き緊張感をもって職務に当たることが求められること」との挨拶がありました。



畜靈祭に相当する祭事は支所でも行われ、10月24日に門司支所新門司検疫場、11月には、4日～7日に北海道・東北支所、17日～21日に成田支所及び神戸支所一突検疫場、18日～21日に神戸支所苅藻検疫場で行われ、門司支所鹿児島空港出張所では年末に行われる予定です。

畜靈祭は、動物への供養や感謝の気持ちとともに、動物検疫所に与えられた使命を再認識できる重要な祭事であると感じました。

## ・農林水産省職員ハンドラーのフォローアップ訓練について

(検疫部 管理指導課)

動物検疫所にとってもや欠かせない存在となっている動植物検疫探知犬（以下「探知犬」という。）は、半年間～1年間の育成訓練を経て活動を開始しますが、活動を開始したらそれでおしまいではなく、定期的にトレーナーによる活動状況の確認を受けています。言わば、機械の定期メンテナンスと同様に、探知犬も能力が問題なく発揮できているのかを確認し、問題があれば修正のための訓練を行うことで、能力の維持を図っています。探知犬の能力を高い状態に向上させ、維持することが結果的に日本の動物検疫に貢献することとなります。

そして、探知犬の能力以上に重要なのが、探知犬を扱うハンドラーの技量です。どんなに優れた精密機器でも、扱う人間がその機器の特性や使用目的を理解し、正しく使うことができなければ意味を成さないのと同じで、ハンドラーの技量は探知犬の成長に非常に大きな影響を与えます。つまり、ハンドラーの技量を向上させることで、探知犬の能力向上にもつながります。

そのため、動物検疫所では、農林水産省職員ハンドラー（以下「官ハンドラー」という。）を対象とした定期的なフォローアップ訓練を行っています。フォローアップ訓練では、実際の探知活動を観察し、①安全なハンドリングができているか、②探知犬との共同作業ができているか、③水際検疫のための効率的な探知ができているか、といったポイントを重点的に確認し、課題があれば指導を行います。

官ハンドラーの中には、ハンドラー歴の長いベテランもいれば、経験の浅い新米ハンドラーもあります。官ハンドラーの経験値やペアを組んでいる探知犬の特徴など総合的に見ながら指導を行っています。特に新米ハンドラーに対しては、小さな点でも良かった部分をフィードバックし、自信を持って業務にあたれるよう心掛けます。ハンドラーという業務は、その特殊性や責任感から、孤立感を抱きやすい一面があります。そのため、技量の向上だけでなく、官ハンドラーが一人で悩ま

ず、意欲と使命感を持って業務にあたれるように指導していくことも大切です。さらに、直接赴いてフォローアップする以外にも、いつでもハンドラーからの相談は受け付けています。



フォローアップ訓練での指導の様子

## ・令和7年度初任者紹介 「私は○○な事務官/防疫官になりたい」

### 【総務部庶務課人事1係】

井田 拓実

「私は、配慮ができる事務官になりたい。」

### 【総務部会計課経理第1係】

池田 康一郎

「私は、今行っている仕事が検疫業務のどの部分に関わっているのかを意識して、仕事に取り組むことができる事務官になりたい。」

### 【企画管理部企画調整課 兼 消費・安全局動物衛生課】

上島 想乃

「私は、常に何が最善であるかを考え、謙虚で思いやりのある防疫官になりたい」

### 【企画管理部企画調整課】

梶矢 湧斗

「私は、日本の食の未来を見据えて行動できる防疫官になりたい。」

### 【検疫部動物検疫課 兼 消費・安全局動物衛生課】

濱崎 結

「私は、常に学び、責任ある行動ができる、防疫官になりたい。」

### 【検疫部動物検疫課】

半澤 拓海

「私は、国民の皆様から信頼される防疫官になりたい。」

### 【検疫部畜産物検疫課 兼 消費・安全局動物衛生課】

木暮 健人

「私は、目の前の仕事を責任をもって行うことで、日本の公衆衛生を守ることの一端を担える防疫官になりたい。」

### 【検疫部畜産物検疫課】

川田 うらら

「私は、広い視野を持ち、学び続ける防疫官になりたい。」

### 【精密検査部危険度分析課 兼 消費・安全局動物衛生課】

舟木 芳

「私は、何事にも疑問を持ち、学び続ける防疫官になりたい。」

### 【精密検査部危険度分析課】

本多 祐翔

「私は、専門的な知識を有した国際的に活躍ができる防疫官になりたい。」

### 【北海道・東北支所検疫課】

來 知文

「私は、幅広い知識を持ち、様々なことに対応できる防疫官になりたい。」

**【北海道・東北支所検疫課】**

川嶋 あやの

「私は、親しみやすく、動物検疫に対して芯の強さがある防疫官になりたい。」

**【成田支所旅具検疫第1課】**

樋渡まい

「私は、努力し続ける防疫官になりたい。」

**【成田支所旅具検疫第2課】**

山本 麻衣

「私は、専門的な知識を持ち、何事も冷静に判断できる防疫官になりたい。」

**【成田支所旅具検疫第2課】**

畠中 星七

「私は、幅広い知識と視点を持って業務に取り組める頼もしい防疫官になりたい。」

**【成田支所貨物検査課】**

木々津 錦

「私は、正しい知識を持った、誠実な防疫官になりたい」

**【羽田空港支所検疫第1課】**

永田 莉

「私は、明るく、信頼感や好感を与えられる防疫官になりたい。」

**【羽田空港支所検疫第1課】**

古田 真菜

「私は、誠実に業務を行い、信頼を絶する防疫官になりたい。」

**【羽田空港支所検疫第1課】**

久保田 真保子

「現場に根ざしながら、全体を見通す視野を持つ防疫官になりたい。」

**【中部空港支所検疫課】**

土屋 成美

「私は、人と動物に寄り添い、かつ業務を正確に遂行する防疫官になりたい。」

**【中部空港支所検疫課】**

河野 唯

「私は、日々学び、動物検疫への理解を広められる防疫官になりたい。」

**【中部空港支所検疫課】**

平川 世菜

「私は、相手の話をしっかりと聞き、人に寄り添える防疫官になりたい。」

**【関西空港支所検疫第1課】**

島田 紀菜

「私は、動物と人々を安全に繋ぐ防疫官になりたい。」

**【関西空港支所検疫第3課】**

鈴木 大翔

「私は、豊富な知識を持って、適切かつ公正な判断ができる防疫官になりたい。」

**【関西空港支所検疫第3課】**

戸上 元佳

「私は、常に学ぶ姿勢をもち、自分で考え行動できる防疫官になりたい。」

**【神戸支所庶務課】**

豊田 公基

「私は、儕儞であり謙虚な事務官になりたい。」

**【神戸支所検疫課】**

井口 萌花

「私は、広い視野を持って誠実に業務を行い、信頼される防疫官になりたい。」

**【門司支所検疫第1課】**

八木 沙織

「私は、業務に誠実に向き合い、信頼される防疫官になりたい。」

**【門司支所検疫第3課】**

井本 美冬

「私は、業務を1つずつ慎重に行い、周りの人から信頼される防疫官になりたい。」

## ・カスタマーハラスメントについて

(総務部 庶務課)

本年9月に農林水産省において、「「業務の範囲や程度を明らかに超える苦情相談」への対応」(以下「対応方針」という。)が定められましたので、その背景及び概要をお伝えします。

近年、悪質クレームなど顧客等からの著しい迷惑行為、いわゆるカスタマーハラスメントが社会問題となっており、本年4月1日に施行された「東京都カスタマー・ハラスメント防止条例」において、国の機関を含む事業者に対して、必要な体制の整備、ハラスメントを受けた就業者への配慮、防止のための手引きの作成その他の措置を講ずるよう努めることとされたことを踏まえ、対応方針が定めされました。

対応方針では、「業務の範囲や程度を明らかに超える苦情相談」の範囲として、「身体的な攻撃」「精神的な攻撃」「暴言」など16の行動例が示され、必要な対応を行っても状況が継続する場合には、必要に応じて警察への通報などの措置を講じるとされています（特に暴力型や威嚇・脅迫型のように職員の身の安全に関わるものは躊躇なく警察に通報等の措置を講じる。）。

動物検疫所は、日々、輸入される動物や畜産物の検査を実施し、海外からの家畜の伝染性疾病の侵入を防止することにより、食料の安定供給の確保、畜産業の振興等に寄与する使命を担っています。この使命を果たしていく中で、万一、対応方針にあるような事案が発生した場合には組織として対応していくことが求められています。その一方、対応方針の留意事項にあるように、国民の行政に関する困りごとを把握し、その解決の促進を図るため、まずは国民からの相談に耳を傾ける必要があることを忘れてはならないとされ、軽々に判定し相談者からの正当な相談を打ち切るようなことは現に慎まなければならないとされ、職員の適切な対応も求められています。

なお、対応方針は当省ウェブサイトのほか、当所ウェブサイトの「ご意見・ご質問」にも掲載しています。



(<https://www.maff.go.jp/aqs/job/request.html>)

## ◎畜産物・動物の輸出入検疫数量実績（令和7年9月、10月）

### ●輸入畜産物（前年同月比）

9月分全体の輸入量は前年同月比101.9%とわずかに増加、10月分全体の輸入量は前年同月比99.1%とわずかに減少しました。

### ●輸出畜産物（前年同月比）

9月分全体の輸出量は前年同月比102.5%とわずかに増加、10月分全体の輸出量は前年同月比92.3%とかなりの程度減少しました。

(単位: KG、アンプル、個)

品目名	輸入		輸出	
	9月	10月	9月	10月
骨類	骨	1,585,771	1,970,857	400 2,000
	碎骨	959,319	942,869	— —
	蹄角	7,493	14,572	— —
	骨腱	20,959	26,667	— —
	蹄角粉	18,000	32,000	— —
	その他の骨	—	—	— —
計		2,591,542	2,986,965	400 2,000
肉類	牛肉	冷蔵	16,353,727	20,539,309 514,345 564,991
		冷凍	27,041,597	32,374,636 497,663 540,294
		その他	208	4,924 5 16
		加熱処理	151,253	121,426 — —
	豚肉	冷蔵	33,671,565	38,418,649 910 1,204
		冷凍	56,568,305	61,751,852 148,107 182,226
		その他	20,800	— —
		加熱処理	784,137	771,293 — —
	めん羊肉		1,280,070	1,391,189 — —
	山羊肉		42,263	70,978 — —
	鹿肉		319	74 — —
	その他の偶蹄類肉		—	— —
	加熱処理その他の偶蹄類肉		—	— —
	ハム		275,076	390,499 2 —
	加熱処理ハム		16,379	20,869 — —
	ソーセージ		1,049,937	1,154,475 54 421
	加熱処理ソーセージ		619,912	743,363 — —
	ベーコン		25,194	75,715 3 —
	加熱処理ベーコン		785	23,183 — —
	馬肉		279,166	489,659 — —
	うさぎ肉		10,006	11,849 — —
	犬肉		—	— —
	家きん肉		59,393,466	58,974,569 419,000 597,800
	家きん加熱処理肉		40,104,747	46,113,226 — —
非加熱 その他の肉	牛	496,500	1,229,348 5,865 50	
	豚	115,690	156,087 14,374 1,442	
	家きん	162,071	95,283 45,252 17,819	
	その他	32,099	35,893 23,169 24,208	
加熱処理 その他の肉	牛	73,928	78,026 — —	
	豚	3,199,274	3,240,682 — —	
	家きん	3,358,903	3,882,198 — —	
	その他	694,524	665,723 — —	
計		245,821,902	272,824,975 1,668,748 1,930,470	
臓器類	牛臓器	110,090	80,201 17 47	
	豚臓器	70,065	50,127 2,000 14,000	
	その他の偶蹄類臓器	11,280	22,976 — —	
	加熱処理牛の臓器	—	— —	
	加熱処理豚の臓器	—	— —	

品目名	輸入		輸出		
	9月	10月	9月	10月	
臓器類	加熱処理その他の偶蹄類臓器	—	—	—	—
	偶蹄類以外の臓器	37,044	70,245	2,124	5,890
	消化管等	2,524,900	2,959,451	3,391	3,122
	加熱処理消化管等	—	—	—	—
	ケーシング	358,706	334,730	6,191	—
	脂肪	4,059,301	3,624,398	210	1,190
	非加熱その他の臓器	2,898	8	—	—
	加熱処理その他の臓器	0	—	—	—
	加熱処理家きん臓器	379,756	351,616	—	—
	加熱処理その他の家きん臓器	—	—	—	—
計		7,554,041	7,493,752	13,933	24,249
卵類	殻付卵	719,447	1,107,799	1,913,774	1,809,674
	液卵	738,471	1,472,421	2,840	385
	その他の卵	1	—	22,213	20,608
	計	1,457,919	2,580,220	1,938,827	1,830,667
皮類	牛皮	2,449,926	1,959,654	812,423	930,001
	豚皮	28,000	28,000	4,409,179	5,299,564
	めん羊皮	—	—	—	—
	山羊皮	—	—	—	—
	鹿皮	25,204	7,228	—	—
	その他の偶蹄類の皮	—	—	—	—
	馬皮	48,675	48,315	—	—
	うさぎ皮	—	20,160	—	—
	犬皮	—	—	—	—
	その他の皮	—	—	—	—
計		2,551,805	2,063,357	5,221,602	6,229,565
毛類	牛毛	—	—	—	—
	豚毛	875	1,325	—	—
	羊毛	99	—	—	—
	山羊毛	7,790	4,275	—	—
	鹿毛	—	—	—	—
	その他の偶蹄類の毛	125	390	—	—
	馬毛	10,164	—	—	—
	うさぎ毛	—	—	—	—
	羽毛	284,467	196,760	13,693	8,714
	犬毛	—	—	—	—
計		303,520	202,750	14,540	8,746
乳製品類	チーズ	17,590,722	17,930,038	9,907	25
	バター	866,514	1,507,744	57	22,267
	偶蹄類動物の飼料用乳製品	5,588,179	4,398,731	—	—
	その他の乳製品	4,927,688	5,935,106	317,798	302,024
	計	28,973,103	29,771,618	327,761	324,315
ミール類	血粉	149,157	156,125	—	—
	肉粉	9,600	480	—	—
	肉骨粉	—	—	—	—
	皮粉・羽毛粉	—	—	—	—
	計	158,757	156,605	0	0
その他	精液（アンプル）	40,918	69,944	—	—
	受精卵（個）	26	67	—	—
	ふん・尿	2	0	—	—
	計	40,946	70,011	0	0
	穀物のわら	18,919,590	21,098,835	—	—
わら類	飼料用の乾草	—	—	—	—
	その他	152,040	84,350	—	—
	計	19,071,630	21,183,185	0	0
	総計	308,484,219	339,263,427	9,185,811	10,350,012

※ 解放重量ベースの速報値

(単位：頭、羽、個、群)

動物名	用途	輸入		輸出	
		9月	10月	9月	10月
牛	乳用繁殖用	—	—	—	—
	肉用繁殖用	—	—	—	—
	肥育用	—	—	—	—
	と畜場直行用	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—
豚	繁殖用	16	160	—	—
	その他	—	—	—	—
めん羊		—	—	—	—
山羊		—	—	—	—
その他の偶蹄類		—	—	—	—
馬	繁殖用	—	22	2	6
	乗用	11	45	—	—
	競走用	14	39	5	22
	肥育用	199	209	—	—
	と畜場直行用	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—
その他の馬科		—	—	—	—
うさぎ		105	334	7	4
初生ひな（鶏）		47,049	63,802	—	—
初生ひな（その他）		1,545	2,114	—	—
種卵（個）		—	—	—	15,000
蜜蜂（群）		—	—	—	—
指定検疫物以外の動物				8,349	8,352
犬		866	770	560	641
猫		522	460	293	262
あらいぐま		—	—	—	—
きつね		—	—	—	—
スカンク		—	—	—	—
サル		—	—	—	—

※ 解放頭羽数ベースの速報値



KUNKUN\_AQSJAPAN

動物検疫所公式 Instagram のフォロワーが 1,000 人を超えるました！  
動物検疫に关心を持っていただきありがとうございます！

Instagram では動物検疫についてわかりやすく紹介しているほか、イベント情報などもお知らせしておりますので、ぜひ一度アクセスをお願いします！！

## ◎動検通信（成田支所）

成田空港は三里塚闘争とか反対派による管制塔占拠など反対運動が激しかった 1978 年に開港しました。その後、地元の理解を深めながら 1992 年に第 2 旅客ターミナルのオープン、2009 年 B 滑走路 (2500 m) の完成、2015 年第 3 旅客ターミナルのオープンなど大きく発展して現在は航空機の国際便離発着数及び国際便旅客数が日本一の国際空港として重要な役割を果たしています。

このような成田空港ですが、2024 年 7 月に「新しい成田空港」構想とりまとめ 2.0 が発表され未来に向けてさらに進化を続けようとしています。「新しい成田空港」構想の方向性として①旅客ターミナルの再構築、②新貨物地区の整備、③最適アクセスを実現、④地域と空港との相互連携を目指しています。その実現に向け、新滑走路の整備をはじめとするさらなる機能強化が進められています。具体的には、2030 年までには B 滑走路を 3500 m に延伸、C 滑走路 (3500 m) の新設を国家プロジェクトとして進められています。また、旅客ターミナルの再構築によるワンターミナル化などが検討されているところです。2030 年代初めから 2040 年代にかけて工事が行われ、3 つある旅客ターミナルが 1 つに集約されるとのことです。これにより発着回数 50 万回 / 年（現在 34 万）、旅客数 7,500 万人 / 年（現在 5,700 万人）の取扱能力にするとのことです。

成田空港が進化する状況の中、果たして動物検疫所はどのように発展しているのでしょうか。先日の次長会議で「動物検疫所はどうあるべきか」ということで動物検疫所の将来像についての意見交換がありました。非公開でしたので、ここでは詳しくは語りませんが、できるところは進めていってほしいところです。うん十年後の動物検疫所。探知犬ロボットが探知、クンくんロボットが広報活動、遠隔で家畜防疫官が操作するアバタークンくんがカウンターで携帯品検査をするような時代になっているかもしれません。日々忙しく今ある業務をどうするかに目が行きがちですが、未来に向かって夢を語ることも大切なことだと思います。

最新のトピックスは  
こちらへ→

動物検疫所のホームページ <https://www.maff.go.jp/aqs/>  
農林水産省のホームページ <https://www.maff.go.jp/>  
WOAH のホームページ <https://www.woah.org/en/home/>

動検時報はこちらにも掲載しています。



編集・発行 農林水産省

動物検疫所

横浜市磯子区原町 11-1  
(045)-751-5921 (代表)